

## 21世紀の日本のかたち（120）

### グローバル時代の現代巨大都市の 弱点を突く新型コロナウイルス



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 代表理事>

#### 1. 新型コロナウイルス感染拡大の空間・都市

昨年12月、中国長江流域の1,100万都市、武漢において発生した新型コロナウイルスの爆発的感染拡大は、世界の国と地域に及び、5月に入って世界の感染者は300万人を越え、死者20万人にも及ぶと報告されております。

日本では国内感染者15,000人以上（5/4）、死者500人を超えましたが、感染拡大の勢いはやや衰える気配をみせております。

今度の新型コロナウイルス感染の特徴は人から人への飛沫感染、接触感染であり、人々の日常的接触空間、人々の密住している都市が現場そのものです。

特に集住規模が大きく、人口密度、人口動度の大きい大都市部に急速に感染が広がっております。欧米ではアメリカの東海岸のニューヨークの巨大都市圏、ヨーロッパではロンドン（英）、パリ（仏）、マドリード（スペイン）、ミラノ・トリノ（伊）などの大都市地域において、爆発的に新型コロナウイルスの感染拡大が起こっています。

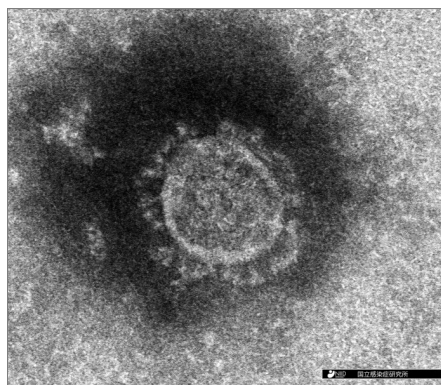
日本では現在、国土全体に感染が広がっておりますが、まず東京、大阪、名古屋の大都市圏、東海道メガロポリスが新型コロナウイルス感染の主舞台となっております。

今、新型コロナウイルス感染拡大阻止の方策として、「三密」、換気の悪い「密閉空間」、近距離での会話や発声のある「密接空間」、手の届く距離に多くの人のいる「密集空間」に、人、市民が出入りすることを避けるべしとしております。

欧米などでも人と人との距離を2m程度、身体尺の1単位1身長（6Ft、183cm）離れるべしとしております。新型コロナウイルスはいわば人間の情愛の距離、日常の距離、ソーシャル・ディスタンスを破壊しています。

都市における人々の活動の停止は、都市型産業を破壊し、地域や国の経済に大打撃を与えており、その経済的損失はリーマンショックを大きく超えると見積もられております。

図1 新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真  
サイズは0.1ミクロン以下



資料：国立感染症研究所

## 非常事態宣言

4月7日、安倍晋三首相は政府対策本部で、「全国かつ急速な蔓延により、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼす恐れがある事態が発生したと判断した」とし、新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づいて「緊急事態宣言」を出しました。対象地域は首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）、大阪府、兵庫県、福岡県、期間はひとまず5月6日まで。人と人の接触機会の7～8割削減を目指すとしています。7都府県には日本の人口の4割が住んでおります。

小池百合子東京都知事はこれに対応して、三つの密「密集、密閉、密接」を避けるため、これに対応する施設の利用制限、施設の使用停止を都民に呼びかけました。大阪府、周辺5県の知事も、これに呼応する声明を出しております。この直後、国の緊急事態宣言区域に愛知県と京都府が指定を望んでおりましたが、東海道メガロポリスの範囲としては当然のことでした。

4月17日、安倍首相は大型連休に先立ち、人の流れを最少化するためとし、各地域が措置を講じられるよう、緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大しました。そして「長期戦も予想されるなか、ウイルスとの闘いを乗り切るためには、なによりも国民との一体感が大切だ。その思いですべての国民に一律に一人あたり10万円の給付を行う」としました。

## 緊急事態宣言5月31日まで延長

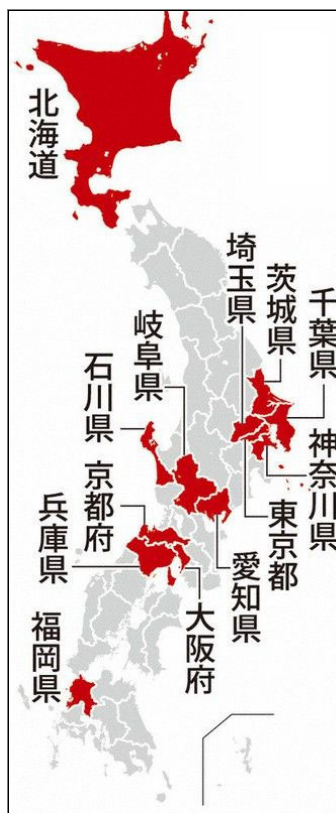
安倍晋三首相は、5月4日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う宣言を5月31日まで延長すると表明しました。その理由は「医療現場の逼迫した状況を改善するためには、1か

月程度の期間が必要である。」とのことでした。

対象は全都道府県。重点的に対策を取る「13の特定警戒都道府県、他の34県は一定の感染防止策を前提に、社会・経済活動の再開を容認。5月14日を目途に感染状況などを分析し、解除の前倒しを検討。」

いずれにせよ、「新型コロナ禍」の非常事態は続くことになりました。

図2 特定警戒都道府県



資料：毎日新聞2020.5.5

緊急事態宣言下、家に閉じ込められている状態では、昭和一桁生まれの私などには先の第二次世界大戦が思い出されます。今のマスク姿は戦時中の防空頭巾、空襲時には防空壕に閉じこもり、そしてこの戦争での死者数、日本人は310万人、世界全体では6,000～8,000万人といわれております。戦争末期の日本は多くの都市が米軍の爆撃により壊滅し、終戦

当時、病気、疫病、梅毒も蔓延しました。戦後、日本は物理的都市の再建の一つの項目として、都市の衛生が大きなテーマの一つでした。疫病と人間が密集する都市の悲劇については、第一次世界大戦時の「ペスト」の大流行があります。数千万人が死んだと記録されております。

今度の新型コロナウイルス感染の全世界拡大は、第3次世界戦争だという表現も、あなたがち大袈裟とも言えません。

## 2. 時々刻々、新型コロナウイルス感染拡大の状況

### 日本

日本での最初の新型コロナウイルス感染者は、2020年1月16日、中国武漢から帰国した中国人男性、続いて1月28日武漢への渡航歴のない日本人男性の二次感染と報告されています（厚生労働省4/8）。

そして、2月5日、横浜港に入港した豪華客船ダイヤモンドプリンセス号（英国船籍、米企業運航）において、乗客乗員のうち、まず10人の感染を確認、3月1日の乗客乗員3,711人の全員下船までに、感染者705人、死者6人、3月27日、船が横浜埠頭を離れるまでに、感染者723人、死者11人と報告されています。

密閉空間となった豪華客船での新型コロナウイルスの感染拡大は悲劇というほかありません。

そして多くの日本人が自分事として予想もしなかった新型コロナウイルスの感染拡大が、2月、3月、そして4月と日本全土に一気に広がりました。2月、1桁だった感染者が、3月100人を超え、1,000人単位で階段状に増

加し、4月に入って7,000人、8,000人、1万人、5月に入って15,000人を超えましたが、やや勢いは低下する気配を見せています。新型コロナウイルスの感染地域は、東京大都市圏、関西大都市圏から全国に広がっております。しかも感染経路が不明なケースが増加しております。

表1 国内の新型コロナウイルス感染者

国内の新型コロナウイルス感染者					
国内での確認例 1万3439人(+210) 死者 372人(+12)					
	感染者	死者		感染者	死者
北海道	615 (+14)	25	大 阪	1491 (+16)	30
青 森	22		兵 庫	629 (+9)	24
岩 手	-		奈 良	73	1
宮 城	85		和歌山	58 (+1)	1
秋 田	16		鳥 取	3	
山 形	66		島 根	22 (+5)	
福 島	69 (+1)		岡 山	22 (+1)	
茨 城	161 (+1)	6	岡 島	148 (+2)	2
栃 木	54 (+2)		山 口	31	
群 馬	141 (+1)	14	徳 島	5	
埼 玉	821 (+19)	25	香 川	28	
千 葉	812 (+8)	26	愛 媛	47	3
東 京	3908 (+72)	100	高 知	73 (+1)	3
神奈川	956 (+16)	26	福 岡	612 (+11)	16
新 潟	70 (+4)		佐 賀	37	
山 梨	178 (+3)	5	長 崎	17	1
石 川	235 (+9)	5	熊 本	47 (+2)	1
福 井	121 (+1)	6	大 分	60	1
山 梨	52		宮 崎	17	
長 野	66		鹿 児 島	10	
岐 阜	149	6	沖 縄	138 (+3)	4
静 岡	63 (+1)				
愛 知	477 (+1)	31	コスタ・アトランチカ	148人	
三 重	45	1	空港検疫など	138人 (+2)	
滋 賀	94	1	チャーター機	15人	
京 都	294 (+4)	8			
ダイヤモンド・プリンセス			723人	死者	13人
退院者合計			3464人(+153)		
総数			1万4158人(+210)	死者	385人(+12)
26日午後10時半現在。カッコ内は25日午後10時半からの増加数。網掛けは政府指定の「特定警戒都道府県」。総数には厚生労働省の発表も含み、一部重複の可能性ある					

資料：朝日新聞 2020. 4. 27

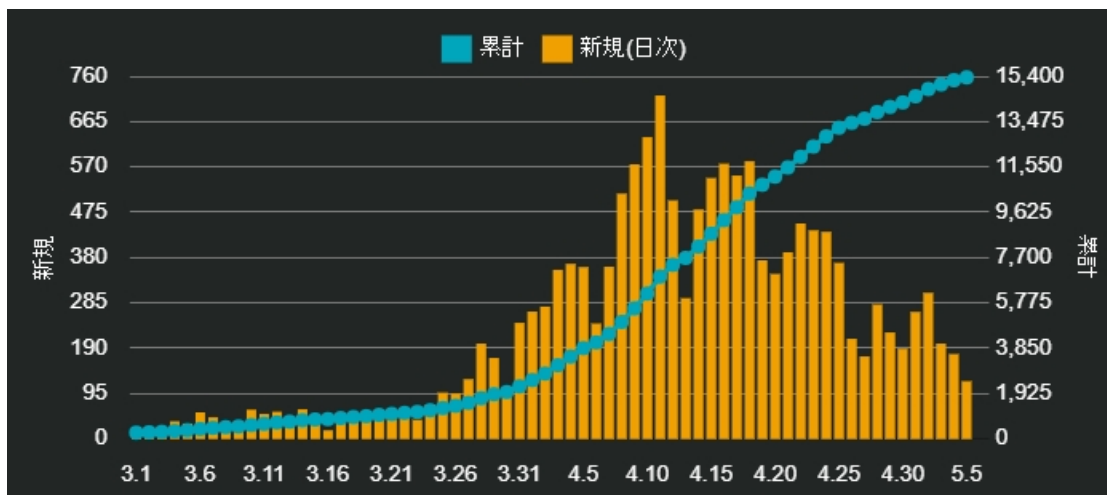
この間、不眠不休で治療を続けている医療関係者の手一杯の危機的状況も報告されておりますが、国や地方自治体の医療体制への強力なバックアップが切に望まれる事態です。

新型コロナウイルス感染拡大の阻止の要諦は、人と人との接触を避けることに違いありませんが、このことはいわば社会活動、都市の動きを止めてしまうことであり、ここに生業を営む多様、多数の企業に働く人々の生活、生計の基盤を奪うことにほかなりません。国

や自治体の支援がどこまで届くのか。日本の主要産業、商工業、交通、観光にこのコロナ

ウイルスが経済に大きな打撃を与えていることを思い知らされます。

図3 国内の新型コロナウイルス感染者数の推移（3月1日～5月5日）



資料：JX 通信ホームページ (<https://newsdigest.jp/pages/coronavirus/>)

教育現場も破壊しています。小中高、大学も今年は卒業式も入学式も見送られ、未だ明確な学校再開の目処も立っていない状態です。

政府は国民1人に10万円、個人事業者へ100万円、中小・小規模事業者へ200万円の給付を決めましたが、職を失った家族、飲食の事業者、アパレル、観光・旅行者、工場や建設業などの苦境を救うのは容易なことではありません。新型コロナ禍の終息を願うばかりです。

#### 東京五輪1年延期

今年（2020年）の夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが「1年程度」延期されることが、3月24日夜、安倍晋三首相とトーマス・バッハIOC（国際オリンピック委員会）会長の電話会談で決まりました。その場には森喜朗大会組織委員会会長、小池百合子東京都知事らが同席しておりました。1年程度延期についてはただちにIOC 臨時理事会がこれを承認しました。この決定に合

わせて、ギリシャから運ばれ、3月26日福島県から始まる予定の聖火のリレーも中止となりました。

今年の東京五輪の1年延期のニュースを聞きながら、2013年9月8日の2020年東京五輪決定のシーンを思い出します。安倍首相は2011年3月11日の東日本大震災の直後における東京五輪開催を「福島はアンダーコントロールにある」と胸を張って宣言しておりました。今回は「『人類が新型コロナウイルスに打ち勝つ証』として、東京オリンピック・パラリンピックを開催する」と述べました。

ただ、新型コロナウイルスの猛威は、現在、日本はもとより世界中に広がって、終息の気配を見せておりません。新型コロナウイルスの暗雲、感染拡大がいつ終息するのか、半年後か1年後か。新型コロナウイルスに効くワクチンが開発されなければ開催は難しいという重い指摘があります。この間の経済的ダメージも莫大なもので、東京オリンピック・パ

オリンピック開催の余力が日本に残っているのか。立ち止まって、肥大化したオリンピック・パラリンピックについて反省してみる良い機会だと思うのですが。

図4 五輪のモニュメントの前で  
写真を撮る子ども



資料：朝日新聞 2020. 3. 25

## 世界

昨年12月、中国武漢市において発生した新型コロナウイルスの感染は、この4か月で5つの大陸全体へ爆発的に広がっています。アジアにおいて中国の広い地域に、そして地続きの朝鮮半島、近い島国である日本へと広がり続けています。

ロシアでも感染者はモスクワを中心に10万人(5/1)を超えております。アメリカは東海岸、特にニューヨークを中心に5月1日現在、感染者100万人以上、死者5万人を超え、いまだ感染終息は容易ではない事態が続いております。ヨーロッパではスペイン、イタリア、フランスの感染者はともに15万人を超え、各国死者は2万人を超えております。ドイツは感染者が14万人超ですが、死者5,000人超で、他のヨーロッパ諸国に比べて医療現場が整備されていること、分散型の都市配置に関係があるのかも注目されます。

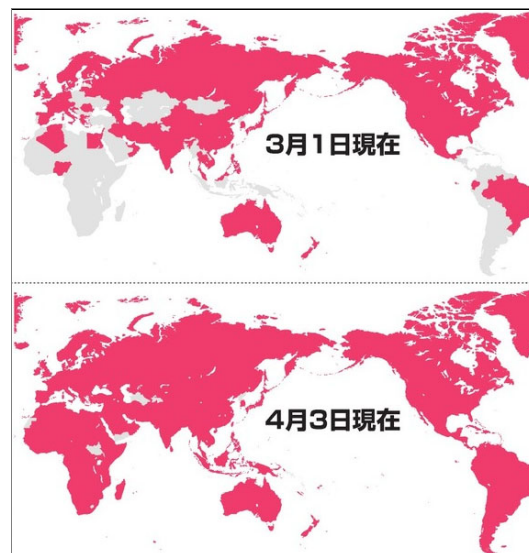
オランダ、スイス、ポルトガルでの感染者

は、ともに2万人を超えています。ヨーロッパにおけるコロナ感染拡大は、首都や大都市において顕著です。

人と人の直接的接触によって起きる新型コロナウイルス感染の世界的拡大は、現在、欧米において顕著ですが、これは中国と繋がっている経済のグローバル化の動態を示すものです。

ヒト、モノ、カネ、情報が、発達した交通網によって世界の大都市、巨帯都市が日常的に繋がらされる現代において、目に見えない極小の新型ウイルスが人に付着し、あっという間にグローバル化の現場に感染し、驚異的スピードでこれを拡散し、各地域にとつともなく大きな感染者、死者を出している状況は、さながら人間・人類が異次元の時空に引き込まれているといった感があります。

図5 新型コロナウイルス感染が確認された  
国と地域



資料：朝日新聞 2020.4.5

地球を俯瞰的に見て、インド、中南米、アフリカに感染者が少ないように思われますが、もしこの地域の国々の、スラムを含む密集し

た居住地に新型コロナウイルスの感染が直撃し拡散すれば、医療水準が低く数百万人規模の死者が出るという予想もあります。新型コロナウイルス感染拡大は、やみくもなグローバリゼーションの弱点・盲点についております。

### 3. 新型コロナウイルス問題と現代都市文明の再構築

今、流行の新型コロナウイルス感染の拡大は、人と人との飛沫感染、直接接触によって起こるものであり、いわば都市における社会的距離、親密空間を破壊するものにほかなりません。

社会的距離、人間尺度を自在に操って、親子、夫婦、恋人、そして友人にも親愛を表現するのが本来の人間の社会です。手の届かない距離に離れたのマスク姿の声の出しあいなど、会話といったものではないのです。この点からいえば新型コロナウイルスの感染の押さえ込みとは、「人間の距離の回復」にほかなりません。なんとしても、今、猛威を振っている新型コロナウイルスに効く新薬の開発、治療法を開発してほしいものです。

それにしても今度の新型コロナウイルスの感染拡大は、まず、人間の密集度の高い大都市地域、日本においては東京圏、関西圏、名古屋圏であり、この地域の動度（モビリティ）の高い密度構造は、満員電車、労働環境、居住環境に現れ、逆の意味で人間の距離を壊している面があるともいえます。

この点で、東京や関西の高密度な大規模集住構造は、近年の自然災害-地震、台風、水害などに関連して、見直される必要があると考えます。

今年東日本大震災（2011年3月11日）か

ら9年目になります。死者、行方不明者、関連死、計22,167人、避難者はなお47,737人にもなっております。原発事故、放射能汚染水の「中間貯蔵」もいまだ未解決のままです。

そして首都直下型地震、南海トラフ地震が30年以内に起こる確率が大なのです。21世紀日本のかたちとして、東京一極集中構造の是正は20世紀末から継続しているこの国の根本課題です。国土の居住構造として、各種の災害（新型コロナウイルス感染も含めて）に対して守りやすい300程度の定住圏に組み替えるべき時だと考えます。

今度の新型コロナウイルスの急拡大は、いわゆるグローバリゼーションの虚実を、静止画像として世界の人々にしっかりと見せております。

この数か月の新型コロナウイルス感染の世界大での爆発的拡散は、現在進行している経済主導のグローバリゼーションと直接している巨大な世界都市（圏）の脆弱性を露呈させました。

戦争、災害、地球温暖化、そして今度は新型コロナウイルス感染の急速な拡大と、立ち向かうことが人類の待ったなしの課題となりました。

中国、韓国、日本、米国、ヨーロッパ先進諸国などに広がる感染拡大の凶、そしてアフリカ、中南米、中東などの医療に課題の多い地域への感染拡大の予兆は、さながらディストピア（死相の世界）的凶すら予感させます。

経済主導のグローバリゼーションの形として、「非接触経済社会—人と人との新たな距離をニュー・ノーマルとする不気味なパイオ監視社会の到来か（船橋洋一、新世界地政学、文藝春秋、2020年5月号）」は全く不気味で

す。

現在、拡大、拡散を続けている新型コロナウイルス感染が、何時、どのような形で終息するのか、1年後か2年後か、予想もつかない状況とってよいでしょう。

かろうじて感染拡大の喰い止めに立ち向かっている医療最前線で働く人たちの、献身的な医療行為に負っているのが現状です。新型コロナウイルスを押さえ込む新薬、新しい治療法の発見が切に待たれます。国連や世界保健機関（WHO）など、国を越えたコロナ感染の拡大の喰い止めのための活動も活発化させてほしいものです。

「ウイルスという存在は生命進化に不可避的な一部、かくしてウイルスは私達生命の不可避的な一部である。ゆえにそれを根絶したり撲滅したりすることはできない。私たちはこれまでも、これからもウイルスを受け入れ、共に動的平衡を生きていくしかない。（朝日新聞<sup>(※)</sup>、2020年4月3日）」

※「ウイルスは撲滅できない」福岡伸一さんが語る動的平衡  
<朝日新聞デジタル>2020年4月6日 5時00分

私自身、日本政府の「緊急事態宣言」下、テレワークで研究所と連絡を取りながら自宅に閉じ込められた状態を続けているところです。疫病と都市についての文献を漁りながら、都市計画、地域・国土計画の立場から何ができるかと自問しているところです。

## 訃報 死者への追悼

ねむの木学園長の宮城まり子さん（93歳）が3月21日に亡くなりました。私の居間には、例年、学園生たちの画いたユニークな「ねむの木学園・ダスキalendar」を掛けてお

りました。宮城さんの私財を投じて創設した、肢体不自由養護施設・ねむの木学園は、2018年に創設50年になり、小柄な「お母さん」の愛の力に驚嘆します。私が東京に来て間もない頃、流行っていた「ガード下の靴みがき」を思い出します。音楽や絵画など、芸術が園生たちの人間の教育に大きな役割を果たしていることも改めて感じさせます。

志村けんさん（70歳）、新型コロナウイルスの感染により急逝。志村さんはかつて私も住んでいた東村山市出身で、いかりや長介（故人）たちと組んで活躍していたザ・ドリフターズ以来、私などの家族もテレビで楽しんでおりましたが、新型コロナウイルスに持ってゆかれるとは。志村さんは東村山市を代表して、この夏予定されていた聖火リレーランナーとして走るようになっておりました。

別役実さん（82歳）、3月3日、肺炎で死去。日本に不条理演劇を打ち立て、この劇に共鳴する人たちに私の友人も多くいます。アーサー・ミラーの「セールスマンの死」を思い出します。

C.W.ニコルさん（79歳）、4月3日、信州黒姫山の麓に居を構え、日本に根を下ろし、環境保護活動を続けていた英国ウェールズ生まれの日本人（日本国籍取得）が死去されました。

大林宣彦さん（82歳）、4月10日、肺がんで死去。日本の戦争体験を持つ世代の一人として、戦争と平和の問題を追求し続けた映画監督が多くの作品を残して逝きました。

最近、昭和一桁生まれの私にとって友人や知人の訃報が多くなりました。この3月には私の弟、物理学者（81歳）も逝きました。「生と死」、特に「死」が少子高齢多死社会に入

って、個人的にも社会的にも大きなテーマとなっていると実感される昨今です。

相模原障害者施設（神奈川県立津久井やまゆり園）殺傷事件では、今から3年8か月前、19人の方々が死亡しましたが、犯人の植松聖（30歳）に死刑の判決がありました。「生産性のない命には価値がない」「障害者は不幸をつくる」として、無抵抗だった人々の命が奪われた衝撃的事件でした。生と死の中に在る人間の尊厳への許しがたい行為でした。

現在進行中の新型コロナウイルス感染拡大では、5月1日時点での世界死者20万人超、日本でも500人超が亡くなっていると報告されており、時々刻々とコロナの死が数として報道されているのは、なんともやりきれないことです。

マン・イズ・モータル（人間は死ぬものである）とはいえ、肉親も弔うことも出来ない「死」とは全く残酷なことです。もし事態が収まった時には、改めて国民的追悼の空間を設えるべしです。

ともあれ新型コロナウイルス感染の嵐が収まって欲しいものです。

表2 世界の感染者数・死者数

国	感染者	死者
米国	1,070,032	63,019
スペイン	213,435	24,543
イタリア	205,463	27,967
英国	172,481	26,842
フランス	167,299	24,410
ドイツ	163,009	6,623
トルコ	120,204	3,174
ロシア	106,498	1,073
イラン	94,640	6,028
ブラジル	87,187	6,006
中国	83,956	4,637
カナダ	54,457	3,310
ベルギー	48,519	7,594
オランダ	39,512	4,811
ペルー	36,976	1,051
インド	35,043	1,154
スイス	29,586	1,737
ポルトガル	25,045	989
エクアドル	24,934	900
サウジアラビア	22,753	162
その他	458,138	17,409
計	3,259,167	233,439
(前日比)	+62,503	+5,716

注：午後5時現在。米ジョンズ・ホプキンス大学集計。  
資料：朝日新聞 2020.5.1

(2020.05.05)